



2019年8月24日～2019年8月30日

2019年9月2日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対米ドルで下落した一方、対円では上昇しました。また、2年国債金利は上昇しました。

米中貿易摩擦に関して、中国商務省が貿易摩擦を激化させることは米中どちらのためにもならず、新たな追加関税の撤回について議論する必要があると述べたことで、米ドル高円安が進みました。一方で米中貿易摩擦の行方はいまだ不透明感が強いことから、ブラジル・レアルをはじめとした新興国通貨の買い戻しは進みませんでした。

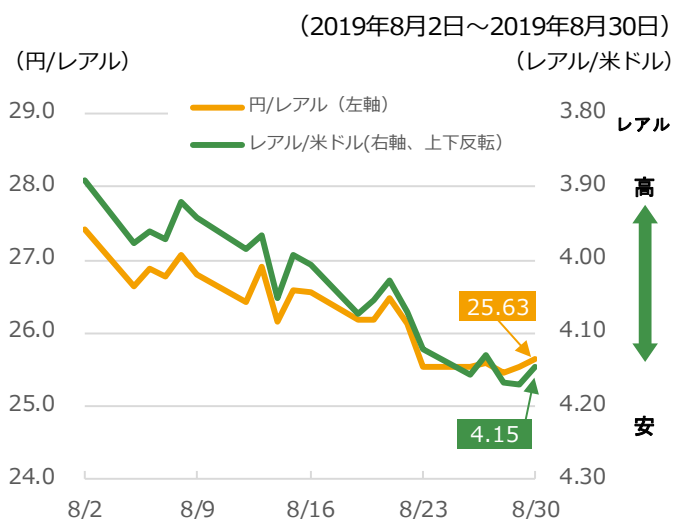
経済指標に関しては、第2四半期のGDP（国内総生産）成長率などが発表されました。第2四半期のGDP成長率は市場予想を上回る前期比+0.4%となり、テクニカルリセッション入りを回避しました。

今週の見通し

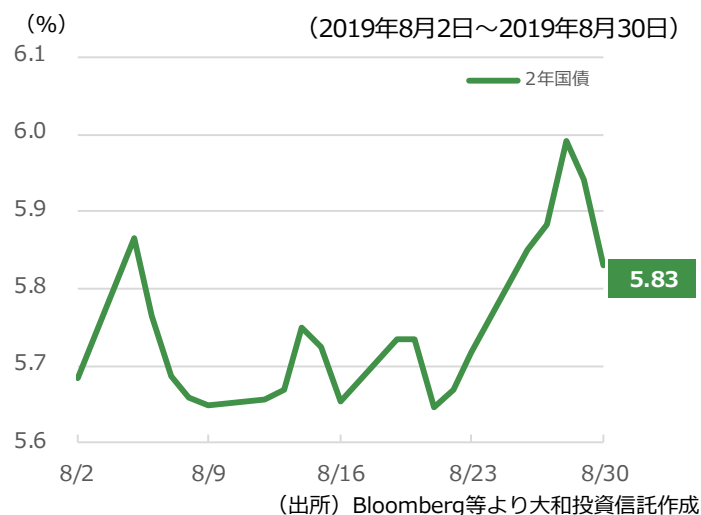
今週はIPCAインフレ率や鉱工業生産、各種PMI（購買担当者指数）などの経済指標の発表が予定されています。

ブラジル市場関係者は政策金利の引き下げが継続されると予想していますが、足元のブラジル・レアル安を受けて、引き下げの継続に疑問符がつきつつあります。現在、ブラジル中央銀行はブラジル・レアル安定に向けて為替介入を実施していますが、ブラジル・レアル安に歯止めがかかるかに注目です。

ブラジル・レアル 為替推移



ブラジル 金利推移



当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

大和投資信託

Daiwa Asset Management